

短編映画『芋穴のささやき』 “Whispering of the Natural Refrigeration Hole”



【中野キャンパス】人文社会学部 人間文化学科 メディア文化コース 講師

鷺山 啓輔 Sagiya Keisuke

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](https://sagiya.com/cv-jp/)

キーワード : 映画・フィクション・ドキュメンタリー・芸術祭・洞窟

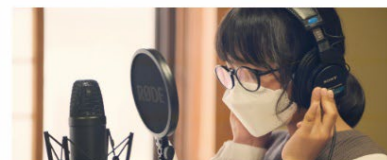
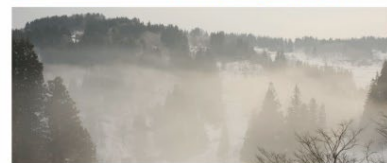


研究の概要

本作は、「越後妻有 大地の芸術祭」に向けて約 2 年間の期間でリサーチ、ワークショップ、撮影、編集を経て完成した短編映画となる。リサーチで新潟県に訪れた際に、穴、洞窟、坑道、水道に関する聞き取りをしていた中で、妻有の十日町に「芋穴」と呼ばれる食糧貯蔵庫があることを知った。外気が入り込みにくい構造の穴の中の温度は、鍾乳洞のように安定していながら、トンネルと違い入口と出口が同一で、外界から遮断された護られた世界と捉えることができる。芋穴には、厳しい冬の山間の食料確保という生活様式が現れている。穴の話から始めて、地域の方々との関わりから紡ぎ出した声を皮切りに、過去から未来へとつながる言葉の集合体を映像で記録（貯蔵）したい。「芋穴」を舞台に、ドキュメンタリーからフィクションへ、そして歌へとゆるやかに変容していく短編映画を地域の子供達とのワークショップを軸に制作することになる。子ども達の心の中に隠れている満たされない想いが節々で見え隠れした。言葉にならない心の奥に溜まったものが、合唱と共に芋穴から大地へ解放されていく。そんな映画に成り得ていれればと願っている。

SDGs 目標 4：質の高い教育をみんなに

SDGs 目標 11：住み続けられるまちづくりを



Copyright © Keisuke Sagiya All Rights Reserved.

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

リサーチ・撮影・ワークショップ・設営・公開を経て得られたフィードバックは、制作活動に反映され、映像作家としての研究としても最新の技術取得・ワークフロー構築の面で、学生の教育に還元されている。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

「<https://sagiya.com/cv-jp/>」をご覧ください。